



とこのお

創造 錬磨 調和

令和6年度 第9号

(令和6年7月8日 発行)

★ アゲハチョウの学習が新聞掲載されました

観察生き生き

朝来市立糸井小学校でアゲハチョウやカタツムリを題材にして自然の多様性を学ぶ授業が行われた。3年生17人が参加し、専門家の説明を聞きながら、アゲハの産卵を観察したり、カタツムリを探したりした。

アゲハチョウの授業は19日に「アゲハ」の講師の京都教育大学名誉教授村上恵さん(67)が成虫・幼虫・さなぎを持ち込み、触り方や砂糖水の与え方を説明。雌が卵を産み付ける様子を

朝来・糸井小で授業

アゲハチョウ、カタツムリ 産卵見守りや校庭搜索

見せる。児童たちから感嘆の声が漏れた。君(8)は「アゲハを近くで観察し、いろんなことを知ることができた。幼虫は触るとつるつるして気持ちよかったです」と話していた。

カタツムリの授業は朝来市の市民課環境推進室副室長の波多野哲哉さん(50)を講師に招いて21日に行われた。児童たちは昆虫採取用の網を持って校庭でカタツムリを搜索。大木の根元の枯れ葉やアシサイの葉、側溝などを探し回り「あちこちからいた」「生きてる」と声が上がった。

さん(8)は「カタツムリは狭くじめじめしてころにいた。3匹ぐらい見つけたよ」と話していた。

カタツムリを探す児童ら

3年生の環境学習で、京都教育大学より講師の先生をお招きして、アゲハチョウの生態などについて学習しました。実物を観察しながら、子どもたちも目を輝かせて一生懸命学びを深めました。また、カタツムリ大作戦の授業の様子も併せて、読売新聞に掲載されましたので紹介します。



★ いよいよ1学期もラストスパートです

7月になり、ようやく梅雨らしい天気が増え、蒸し暑さを感じる日が増えていきます。

校長室から見える紫陽花もきれいな花を咲かせ、1年生が育てているアサガオは、ぐんぐんつるを伸ばし、つぼみもつけはじめています。



梅雨の雨や、すごしづらい蒸し暑さも植物にとっては必要なものかもしれませんが、気温によっては命に関わる暑さとなる日もあることから、学校では熱中症指数計を用い、複数回数値の確認を行いながら、指針に基づいて体育や外遊びを行っています。教室内はエアコンで室温調整をしています。座席の位置によっては寒いと感じる子もいるようです。ご家庭でぜひお話を聞いていただき、薄い上着等着るもので調整していければと思います。

また、6月27日(木)の授業参観では、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの学びの姿を見ていただくことができました。その後の引き渡し訓練でも、スムーズな引き渡しができ、保護者の皆様にはご協力をいただきありがとうございました。

さて、早いもので1学期の登校日は、あと9日となりました。7月11日からは期末懇談会を開催し、お子様の1学期の頑張りや、今後の課題についてお話させていただく予定です。お忙しい中ですが、ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。